

# くらし・子育ての声を一つひとつとどけ

市民の願い実現に  
いつも全力!

# 橋本よね子 議員



## 一緒に実現しましょう

### 国保税 ただちに 引下げを

市の国保会計には9億9千万円もためこまれています。

- ただちに1世帯、年2万円の引下げを(2億6千万円でできます)。
- 子どもの均等割を「せめて半額」に(2900万円でできます)。

#### ●全国知事会も要望

- 国保税を「協会けんぽ保険料並みに」引下げを
- 子どもが増えるほど上がる「均等割」見直しを

- 加賀市では、子どもの均等割に減免制度導入。

### 学校給食 を無料に

小学校で月5千円、中学校で月6千円もかかる給食費。

「義務教育は無償」(憲法26条)と無償にする自治体が広がっています。小松市でも実現しましょう。

全国では、給食費の「無償化」「一部無償化」を3割近くの自治体で実施。

県内でも志賀町、中能登町が「2人目以降無料」です。

### くらしの 声を届けて

#### 橋本よね子は頑張ります

- 介護保険の負担軽減を
- 移動販売車の導入で買い物支援を
- 在来線・バスなど公共交通の充実を
- ダンボールベッド、女性用トイレなど災害時の避難所の充実を



みなさんの力で  
引きつづき議会に  
送り出してください

私をはじめて議会に出てから、はや24年、日ごろからのご支援に心から感謝しております。

私の議員活動の原点は「くらし・子育ての声をとどける」にあります。この間、一番心に残っているのは、子どもの医療費が18歳まで完全に無料になったことです。お母さん・お父さん方と署名や議会への要請など一つひとつとりくんできたことが実り、「よかったね」と喜び合ったことは本当にうれしいことでした。

しかし今、市民のくらしはどうでしょうか。「国保や介護など税負担が重すぎる」「子育ての費用でいっぱい一杯」—こういう声があふれています。その上に、消費税の値上げ、さらには、子どもたちの未来を奪う憲法9条の改悪までされようとしています。

「誰もが安心して暮らせる小松市に」「子や孫たちに9条を無傷で渡したい」、そのためにどうか再び、私をみなさんの力で議会に送り出して下さい。ご支援を心からお願いします。